

現地調査「出島メッセ長崎の進捗状況について」

目次	ページ
1 出島メッセ長崎の進捗状況について（概要版）	1
2 位置図	2
3 施設の概要	3～4
4 イメージパース	5
5 施設平面図・断面図	6～8
6 工事現況写真	9
7 施設計画	
(1) 外装計画	10～18
(2) 内装計画	19～24
(3) 屋上計画	25～26
(4) 外構計画	27～30
(5) 設備計画	31～32
(6) 防災計画	33
(7) 新型コロナウイルス感染症対策	33
8 民間収益事業の状況	34～35
9 今後の予定	36
10 出島メッセ長崎への誘致状況	36
11 長崎市MICEアンバサダー	37
12 学生ボランティアの人材育成及び仕組みづくり	37

文化観光部

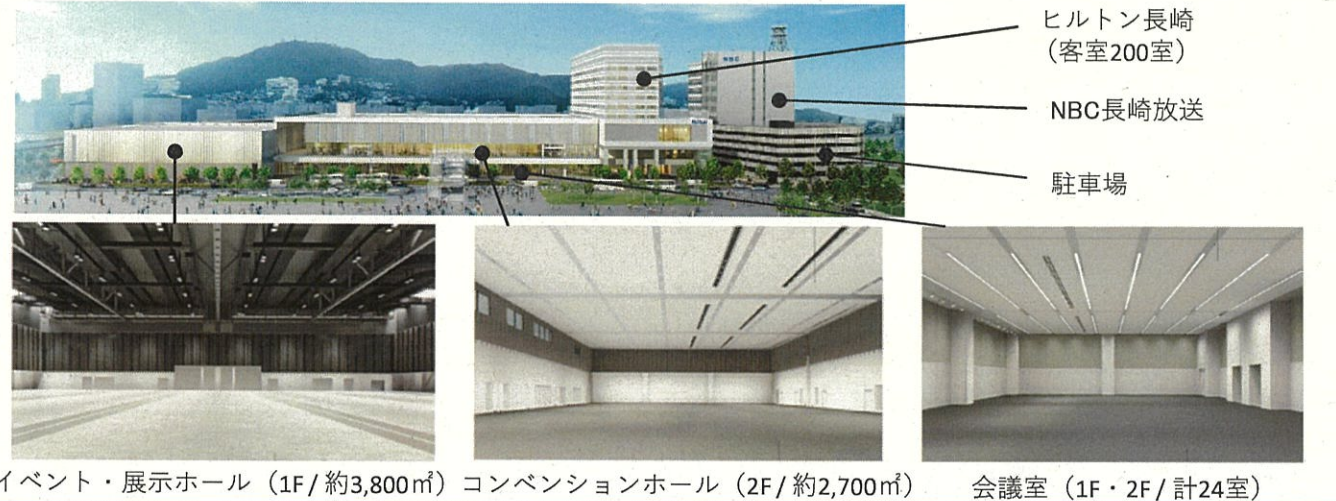
令和3年6月



1 出島メッセ長崎の進捗状況について (概要版)

(1) 出島メッセ長崎施設概要

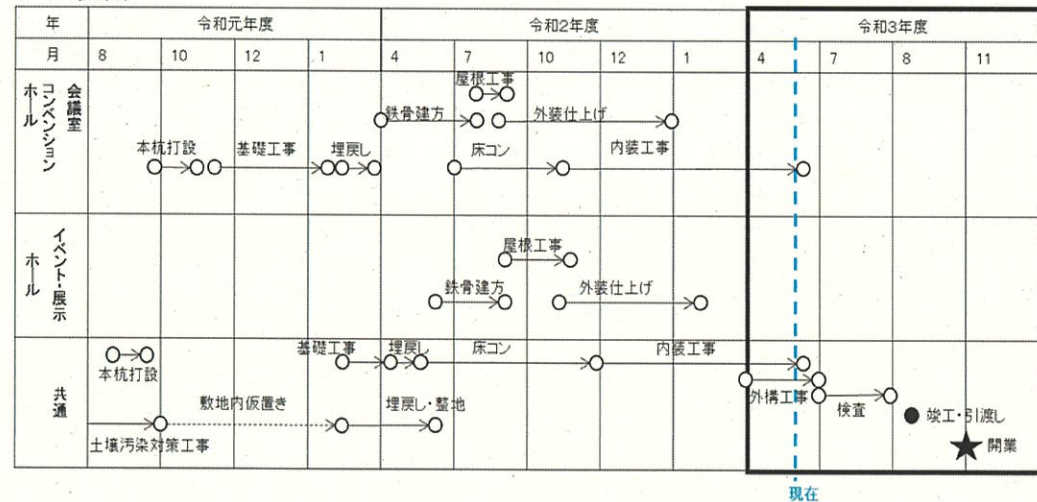
- ア 設置目的 学会、大会、展示会等の開催の場を提供し、国内外の人々の来訪及び交流を促すことにより、交流人口の拡大を図り、もって本市経済の活性化に寄与すること。
- イ 建築概要 地上4階 地下1階、延べ床面積 33,517㎡
- ウ 事業手法 整備・運営をPFI事業（公設民営）で実施。運営事業者は(株)ながさきMICE（代表企業 (株)九電工）指定管理者制度を導入し、**利用料金収入による独立採算で20年間施設を運営。**
- エ 総事業費 **216億円**（整備費147億円、用地費69億円）
 - 国庫補助金 21億円（社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集中支援事業）
 - 地方債 136億円（公共等事業債及び中心市街地再活性化等特別対策事業債、交付税措置 39億円）
 - 一般財源 59億円



イベント・展示ホール（1F/約3,800㎡） コンベンションホール（2F/約2,700㎡） 会議室（1F・2F/計24室）

(2) 進捗状況

ア 工程表



工事進捗率
(R3.5末現在)

・全体工事
(建築、設備等)
計画：96.6%
実績：96.6%
※予定どおり進捗

イ 工事現況写真 (令和3年5月撮影)



(3) 施設計画 (新型コロナウイルス感染症対策等としての施設機能)

- ア ソーシャルディスタンスの十分な確保への対応
全室、平土間の空間であることから、ソーシャルディスタンスを保った配席や飛沫感染を防ぐパーテーションの設置などに柔軟に対応可能。
- イ 十分な換気への対応
外気を取り入れる換気、必要換気量を全ての部屋において確保（30㎡/人・時間）。
・イベント・展示ホール 24分/回 → (18分/回)
・コンベンションホール 18分/回 → (17分/回) (カッコ内は扉を開け送風機等を追加設置した場合)
・会議室 5～11分/回 → (3～8分/回)
- ウ 通信事業者の大容量の光ケーブル（5か所引込）、5G導入（ハイブリッド会議やeスポーツ対応等）
- エ エレベーターにプラズマクラスター技術を導入
- オ トイレなどに抗菌・抗ウイルスの壁紙を使用
- カ 応接室、主催者事務室に空気清浄機、会議室に空気中のウイルスを除菌する紫外線殺菌装置を設置
- キ 机、椅子、ドア、屋内階段手摺に抗ウイルス剤を塗布

(4) 民間収益施設

- ア ヒルトン長崎
 - (7) 建物設置者 M&H長崎ホテル合同会社
 - (イ) 運営者 (株)グラバーヒル
 - (ウ) 階数 地上11階
 - (エ) 延べ床面積 20,300㎡
 - (オ) 客室数 200室
 - (カ) 付帯施設 レストラン(1-2F) バンケット/チャペル(4F) ジム/温浴施設(5F)等
 - (キ) 構造 鉄骨造
 - (ク) 工事進捗率：95.9%(R3.5末現在) ※予定どおり進捗
- イ 長崎放送株式会社社屋
 - (7) 建物設置者 長崎放送株式会社
 - (イ) 階数 地上11階
 - (ウ) 延べ床面積 9,055㎡
 - (エ) 構造 鉄骨造
 - (オ) 工事進捗率：96.5%(R3.5末現在) ※予定どおり進捗

(5) 誘致状況と課題

ア 開業後1年間の誘致状況

(令和3年11月～令和4年10月) 令和3年5月末現在

種別	目標利用者数(千人)	想定利用人数*(千人)	達成率(%)
学会	50.8	約39.8	約78
一般会議	155.5	約44.3	約28
イベント・展示	404.0	約384.1	約95
計	610.3	約468.2	約77

※想定利用人数…誘致案件の参加者見込数を集計

イ 開催が決定・内定した公表可能な全国大会等

- R3
 - ・全国スーパーマーケット協会全国大会 1,000人規模
 - ・九州消化器内視鏡技師研究会 1,000人規模
 - ・日本小児歯科学会九州地方会 300人規模
 - ・FFG(ふくおかフィナンシャルグループ) 出島メッセ長崎こけら落としイベント (全館利用)
- R4
 - ・中小企業団体中央会全国大会 2,500人規模
 - ・日本腎臓病薬物療法学会学術大会・総会 1,000人規模
 - ・LRT都市サミット 600人規模
 - ・九州国道協会 500人規模
 - ・日本乳癌学会九州地方会 400人規模
 - ・AsiaCCS2022 300人規模
- R5
 - ・秋季日本歯周病学会学術大会 2,500人規模
 - ・日本小児歯科学会全国大会 2,000人規模
 - ・全国経済同友会セミナー 1,200人規模

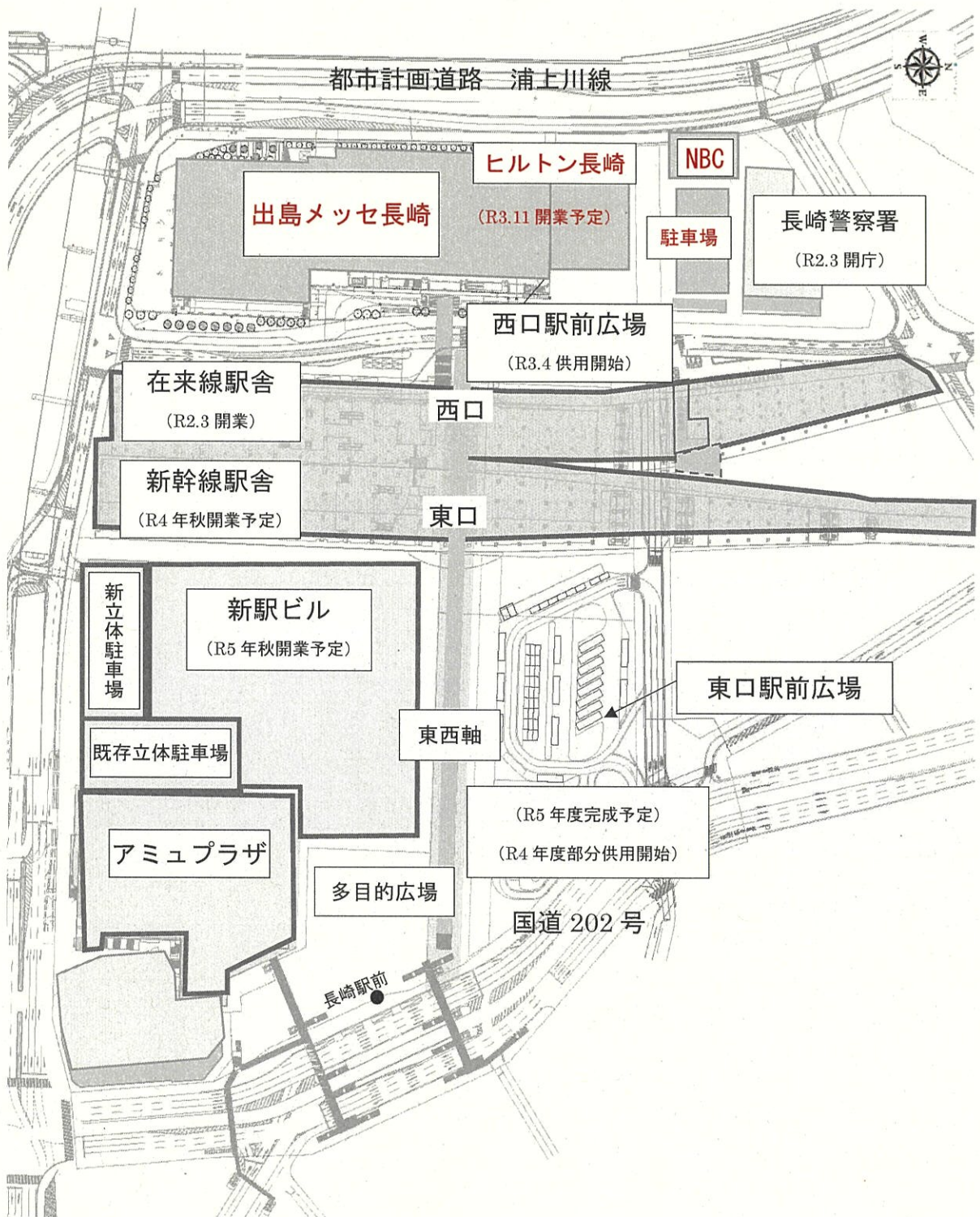
ウ 課題

MICE誘致の現状は、目標達成に向け概ね予定どおり進捗しているものの、コロナ禍においてMICEを取り巻く環境は全国的に厳しい状況であることから、引き続き誘致強化に努める。

(6) 今後のスケジュール

- ア 令和3年8月18日 施設引渡し
- イ 令和3年8月～10月 内覧会
- ウ 令和3年11月1日 長崎市・ヒルトン長崎・長崎放送三者合同による開業記念式典 長崎駅西側のまちびらき

2 位置図



3 施設の概要

(1) 施設名称 出島メッセ長崎

(2) 設置目的

学会、大会、展示会等の開催の場を提供し、国内外の人々の来訪及び交流を促すことにより、交流人口の拡大を図り、もって本市経済の活性化に寄与すること。

(3) 所在地 長崎市尾上町4番1号

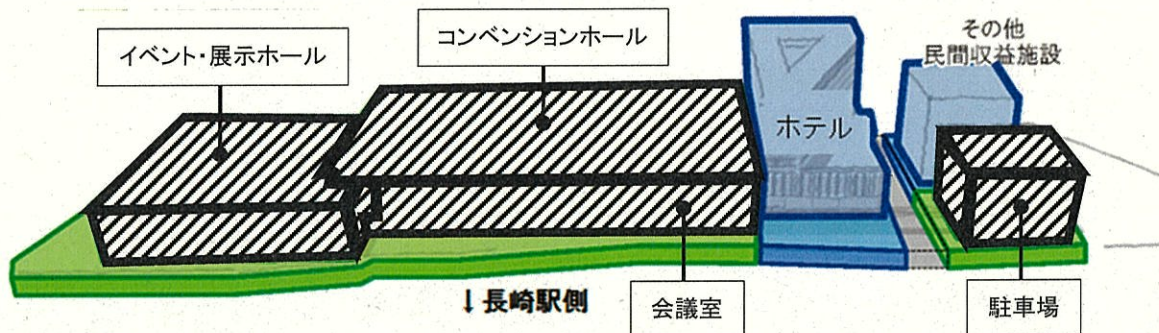
(4) 供用開始日 令和3年11月1日

(5) 階数 地上4階 地下1階

(6) 延べ床面積 33,517 m²

(7) 施設の管理運営 利用料金制による指定管理者制度を導入

(8) 公の施設の範囲 下図の斜線の施設



(9) 施設の仕様

室名		面積	天井高	床荷重	
2F	コンベンションホール	全面	約2,700m ²	約10m	-
		3/4	約2,025m ²		
		1/2	約1,350m ²		
		1/4	約675m ²		
室名		面積	天井高	シアター形式	スクール形式
1F	会議室1	1	約5m	200席	110席
		2	約5m	200席	110席
		3	約5m	200席	110席
	会議室2	約210m ²	約5m	220席	120席
	会議室3	約210m ²	約5m	220席	120席
	会議室4	約60m ²	約3m	50席	20席
	会議室5	約100m ²	約3m	90席	40席
	会議室6	約60m ²	約3m	50席	20席
	会議室7	約230m ²	約5m	220席	120席
	会議室8	約230m ²	約5m	220席	120席
会議室9	約100m ²	約3m	100席	40席	
会議室10	約100m ²	約3m	100席	40席	

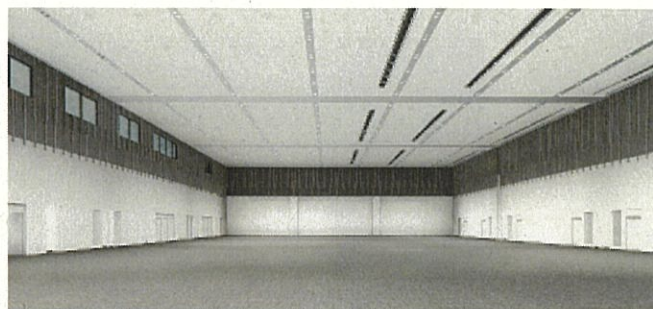
室名		面積	天井高	シアター形式	スクール形式	
1F	会議室	会議室11	約80m ²	約3m	75席	30席
		会議室12	約30m ²	約3m	35席	12席
		会議室13	約70m ²	約3m	70席	25席
		会議室14	約20m ²	約3m	-	8席
		会議室15	約20m ²	約3m	-	8席
		会議室16	約20m ²	約3m	-	8席
		会議室17	約70m ²	約3m	70席	30席
		会議室18	約130m ²	約3m	130席	55席
		会議室19	約20m ²	約3m	-	10席
		会議室20	約20m ²	約3m	-	10席
		会議室21	約20m ²	約3m	-	10席
		会議室22	約20m ²	約3m	-	10席
室名		面積	天井高	床荷重		
1F	イベント・展示ホール	全面	約3,800m ²	約12m	5t/m ²	
		1/2	約1,900m ²			

ア コンベンションホール（2F）

分割利用（4分割）も可能な平土間のホール。講演会、大会、レセプション等様々な利用形態に柔軟に対応。

【面積】約 2,700 m²

【天井高】約 10m



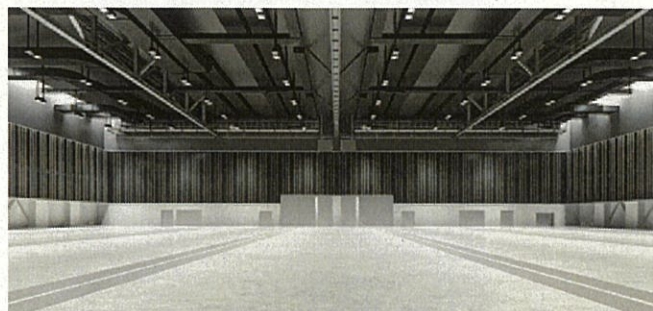
イ イベント・展示ホール（1F）

分割利用（2分割）も可能な平土間のホール。展示会、イベント、コンサート等に対応。長崎初の本格的な展示ホール。

【面積】約 3,800 m²

【天井高】約 12m

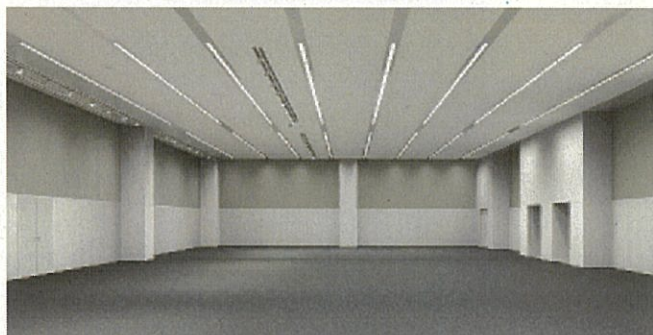
【床荷重】5 t/m²



ウ 会議室（1F・2F）

大中小様々なタイプの 24 部屋の会議室。各種セミナーから控室利用など、様々な催事に対応。

【面積】約 20～600 m²まで



エ ペDESTリアンデッキ

出島メッセ長崎と長崎駅西口を結ぶ歩行者専用通路。雨天時は雨に濡れずにアクセス可能。エレベーターも完備。



オ 駐車場

出島メッセ長崎及び民間収益施設の駐車施設を集約した自走式駐車場。

【駐車台数】393 台

出島メッセ長崎利用者用 300 台

民間収益施設利用者用 93 台



4 イメージパース

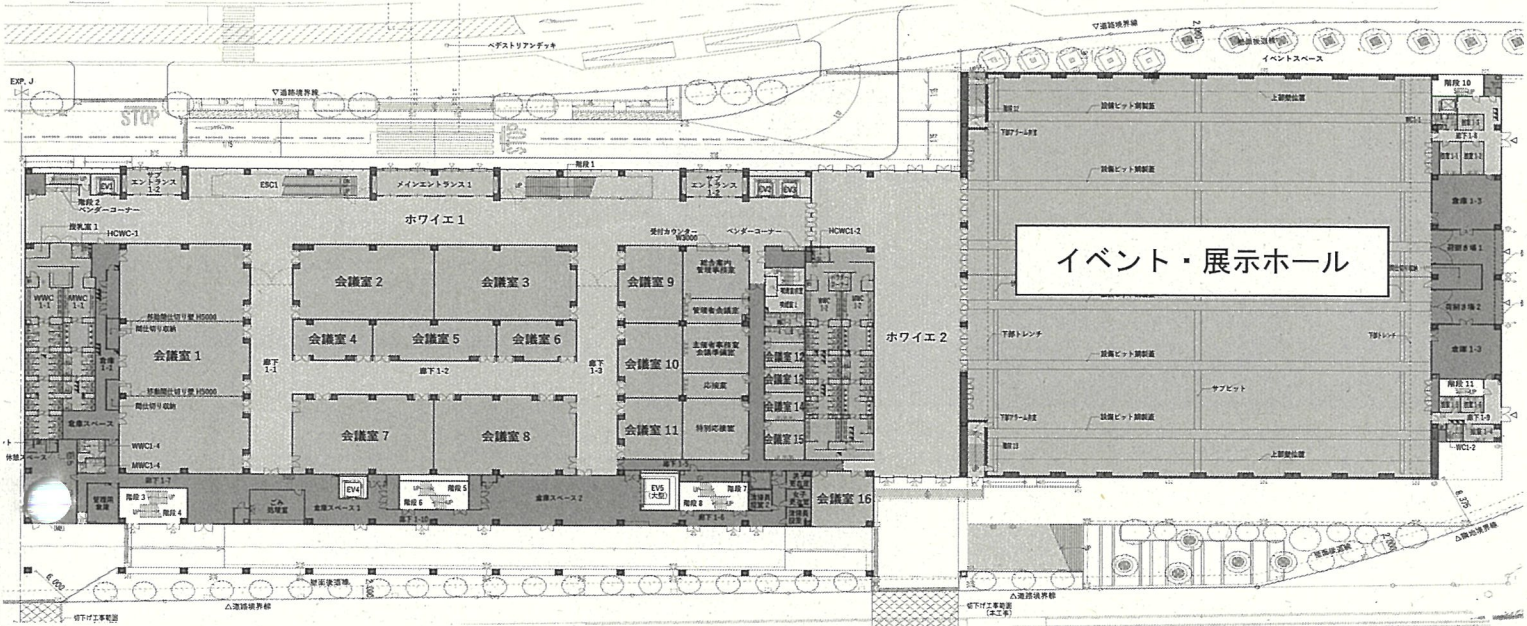
5



5 施設平面図・断面図

【1F平面図】(イベント・展示ホール、会議室18室、総合案内、特別応接室ほか)

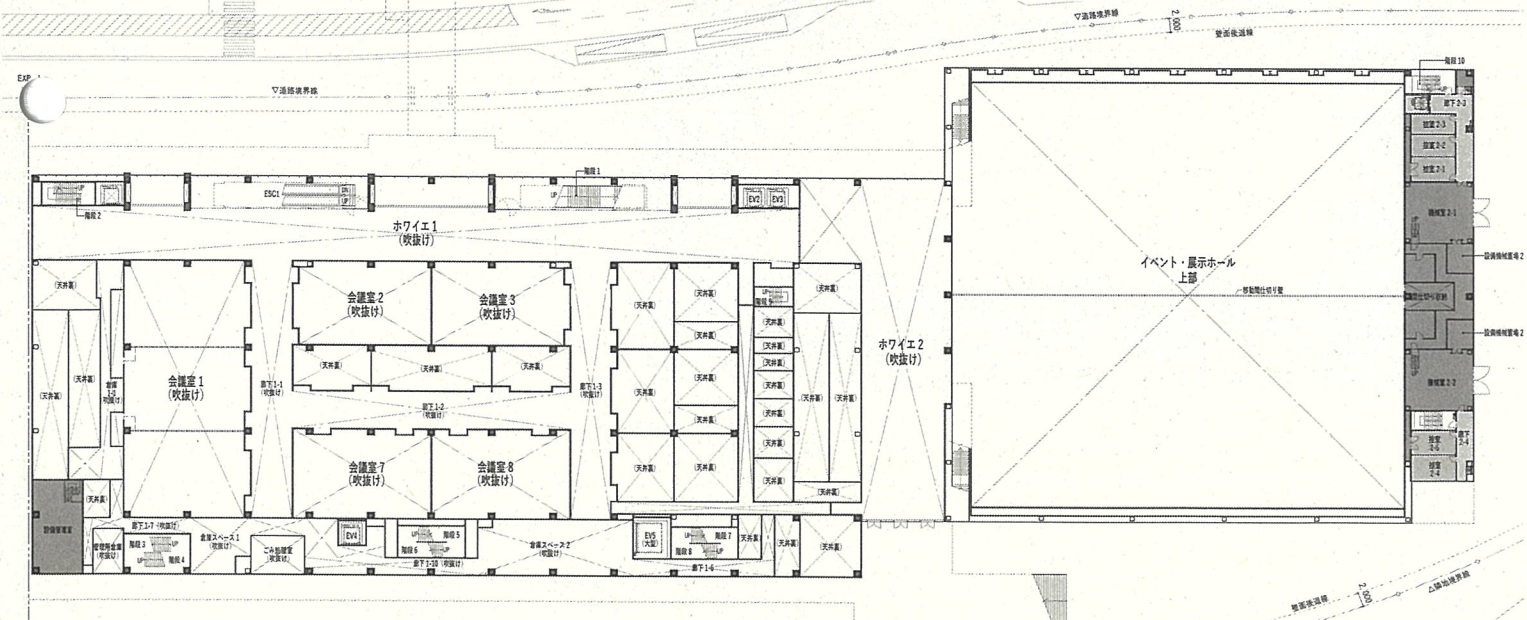
長崎駅側



浦上川側

【中2F平面図】(控室、設備管理室ほか)

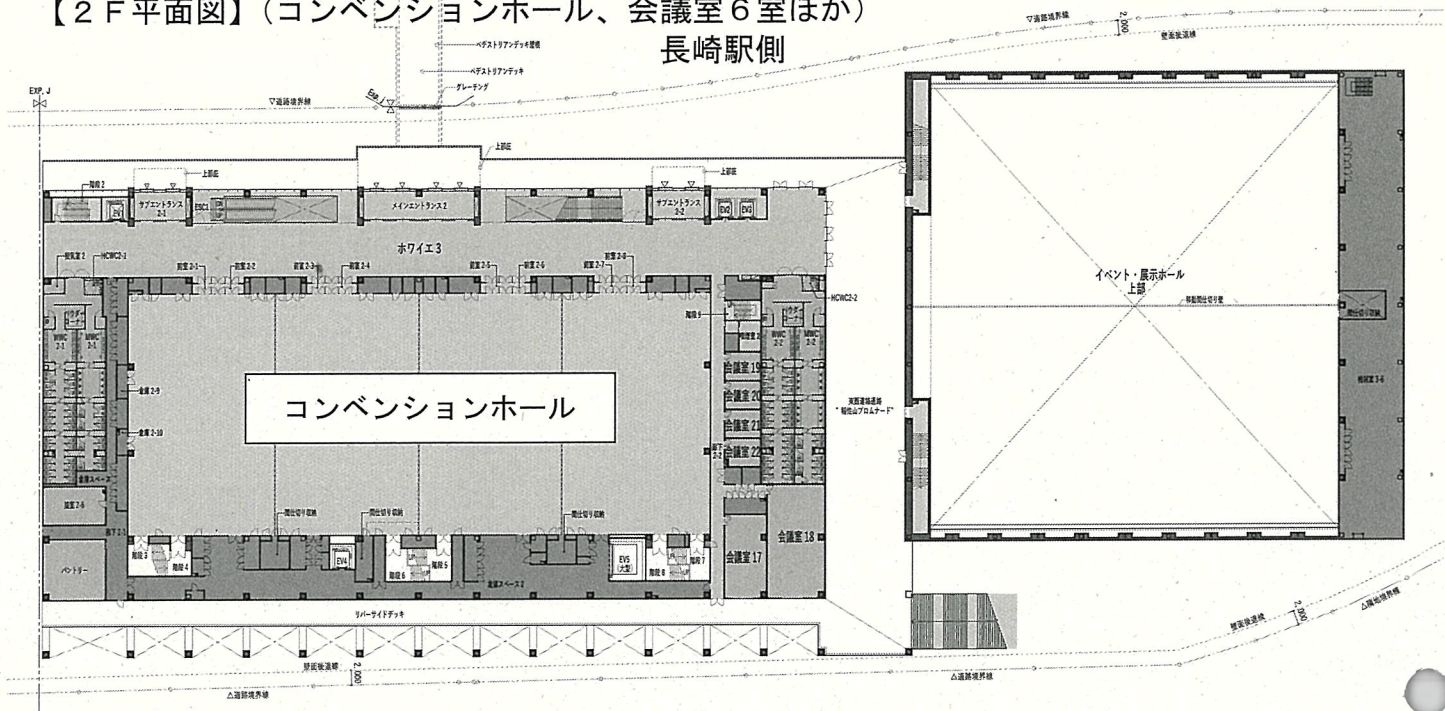
長崎駅側



浦上川側

【2F平面図】(コンベンションホール、会議室6室ほか)

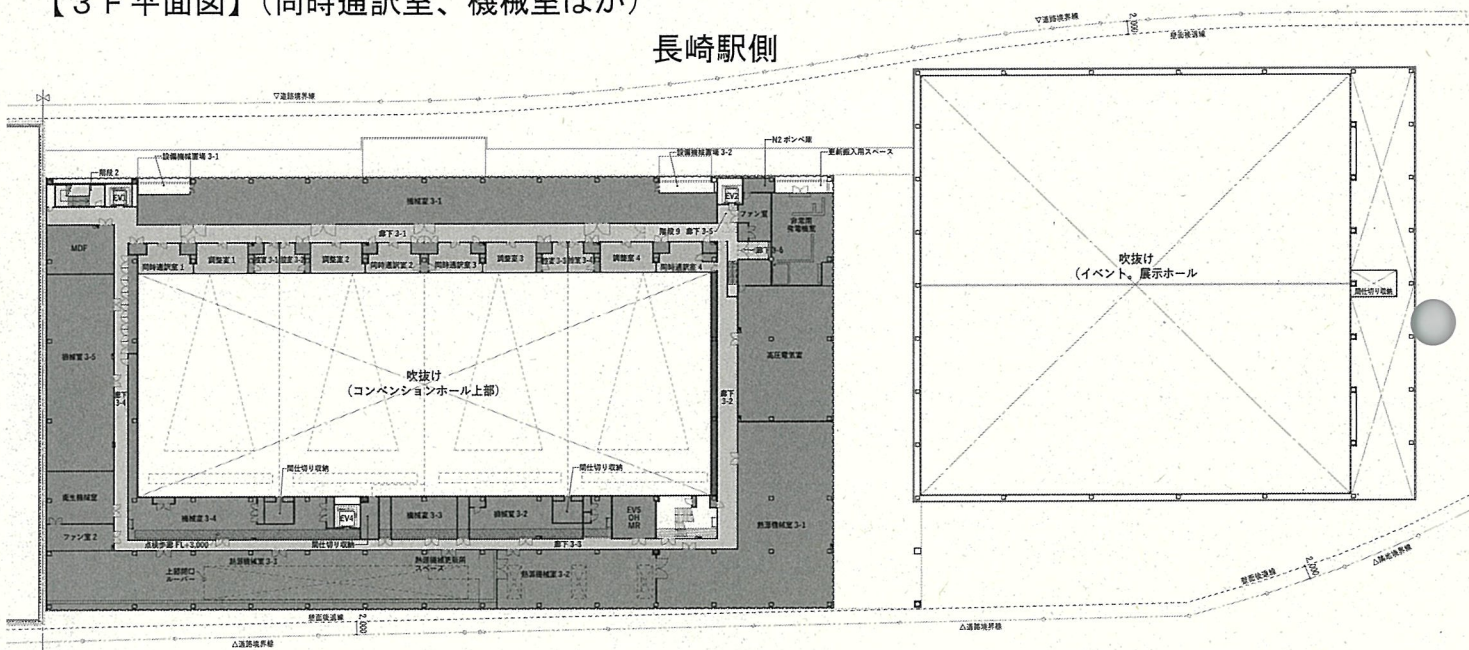
長崎駅側



浦上川側

【3F平面図】(同時通訳室、機械室ほか)

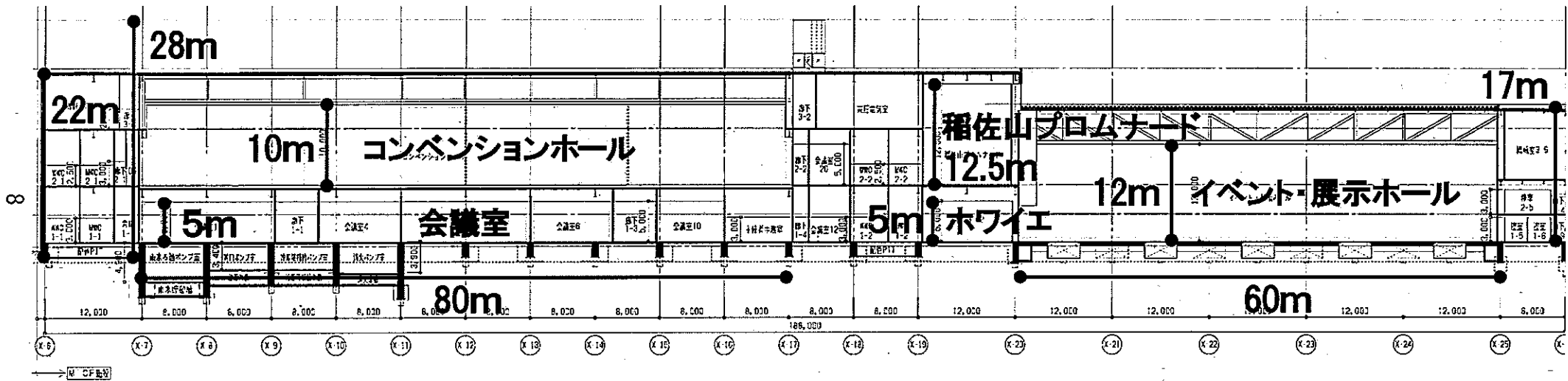
長崎駅側



浦上川側

【断面図】

※浦上川側から見た断面図



6 工事現況写真（令和3年5月撮影）

(1) 全景



(2) ホワイエ



(3) イベント・展示ホール



(4) コンベンションホール



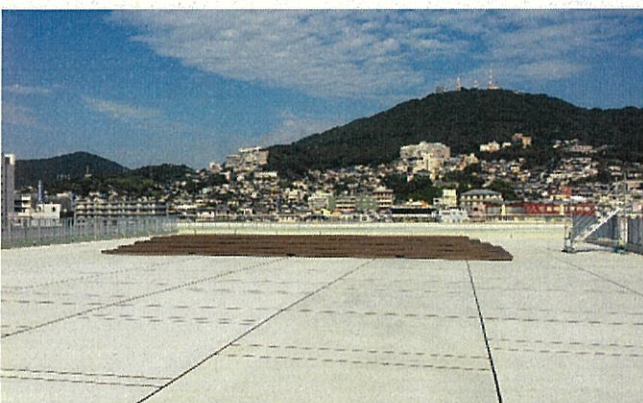
(5) 会議室



(6) ペDESTリアンデッキ



(7) 屋上



(8) 稲佐山プロムナード



7 施設計画 (1) 外装計画

ア 外装に係る主な変更点

提案時の外装

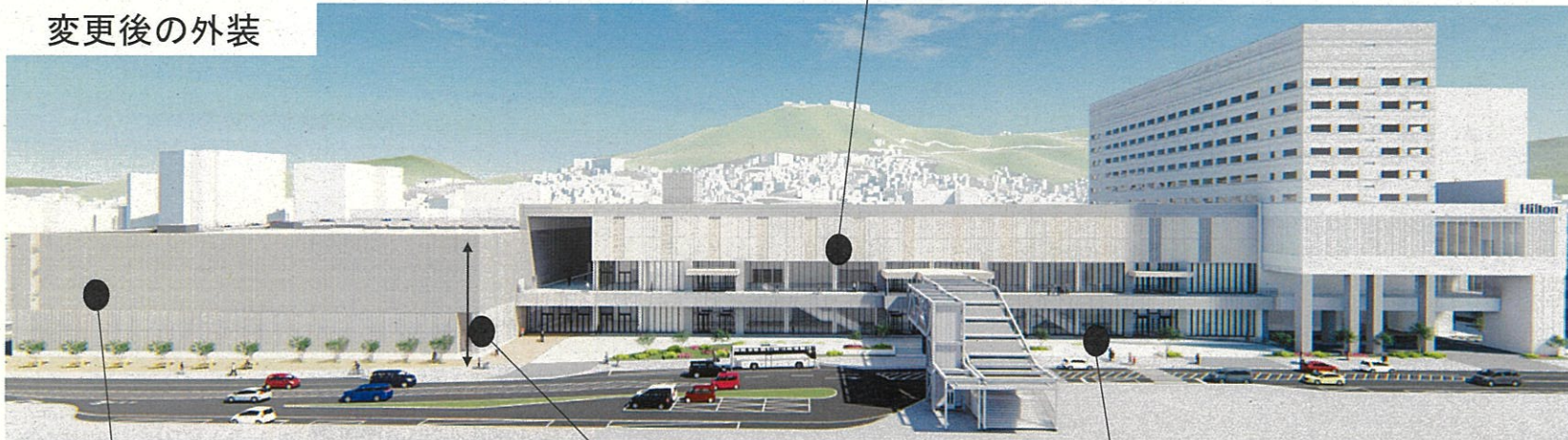


長崎駅周辺エリアデザイン調整会議、長崎市景観専門監及び県・市の景観担当部署との景観協議を踏まえた変更



③コンベンションホールの外壁は、来館者を迎える印象的な素材とするため、白い壁から明るいライトグレーの塗装をメインに、温かみのある色のアルミの格子枠との組み合わせにより表情を豊かにする仕様に変更した。

変更後の外装



①イベント・展示ホールの外壁は、圧迫感を軽減し、重厚感を持たせるため、コンクリートパネルからリップ付き穴あきコンクリート板とし、縦方向のリップ（凸凹）とコンクリートの持つ素材の力強さにより表情を豊かにする仕様に変更した。

②イベント・展示ホール建物全体の外壁は、圧迫感を軽減させるため、高さ約6mで分節し、上段と下段の材質を変えるよう変更した。

④コンベンションホールの側面は、長崎駅など周辺の建物と色彩を合わせ街並みの統一を図り、重厚感を持たせるため、黒色を基調としたアルミサッシに変更した。

7 施設計画

(1) 外装計画

イ JR長崎駅舎方向からの見え方

施設の正面というべき新JR長崎駅側のファサードは、水平に延びるラインを意識し、のびやかな構成で造られています。駅舎の長いファサードとも呼応するデザインです。また、建物の内部の機能を感じることができる立面構成としています。イベント展示ホールは、強固なイメージの壁面で覆い、様々な催事を開催すべく包含するようなイメージでデザインしています。コンベンションホールは内外一体となるホワイエとペDESTリアンデッキで来館者を迎え、賑わいを発信する透過性のあるガラスファサードとしています。

リブ付き穴あきPC版(スパンクリート):

コンクリートを押出成形した建材

素材の力強さや表情の印象をそのまま生かした仕上げとします。表面を保護するために素地を生かした塗装をします。

押出成形セメント板(ECP):上段帯
素地を生かした仕上げとします。

押出成形セメント板(ECP):縦張り部
塗装をし表面を保護します。

アルミガラリ:

縦張りECPと調和するようステンカラー艶消しとしています。



新JR長崎駅から稲佐山方向への視点

押出成形セメント板(ECP):下段縦張り
素地を生かした仕上げとします。

アルミサッシ:

ホワイエのスラブから天井までのサッシです。
ブラックを採用しています。
ガラスは透明ガラスを採用しています。

格子手摺:

スチール溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理仕上げN=3.5

7 施設計画

(1) 外装計画

ウ JR新長崎駅舎方向からの見え方 拡大図

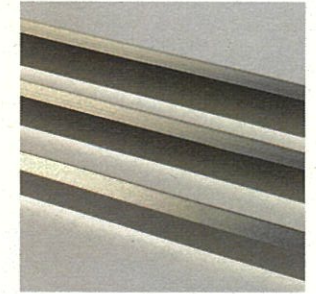
コンベンションホール側のファサードは、天井いっぱいのガラスによる明るいホワイエと建物幅いっぱいに延びるペDESTリアンデッキで来館者をお出迎えます。賑わいを発信する透過性のあるガラスファサードを主題にしています。



押出成形セメント板 (ECP):
上段帯、デッキ外壁
素地を生かした仕上げとします。



押出成形セメント板 (ECP):
縦張り部塗装をし表面を保護します。



アルミガラリ:
縦張りECPと調和するようステンカラー艶消しとしています。

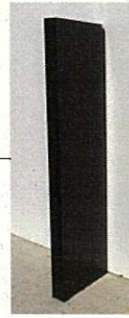


新JR長崎駅から稲佐山方向への視点(拡大)

7 施設計画 (1) 外装計画

エ 車寄せ空間

MICE施設の南北に長い敷地を生かした車寄せにより様々な来館者をお出迎えます。
1階、2階共天井いっぱいのガラスファサードで内部の賑わいを発信します。
2階のデッキではホワイエの延長としても機能し、人々の活動が滲み出す計画です。



アルミサッシ：
ホワイエのスラブから天井までのサッシです。ブラックを採用予定です。
ガラスは透明ガラスを採用しています。

格子手摺：
スチール溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理仕上げ
N=3.5±1.0



軒天井：
ファインフロア
溶融亜鉛メッキ仕上げ



車寄せ空間を車両の入り口方向より望む

7 施設計画

(1) 外装計画

オ イベント展示ホール外装計画

イベント展示ホールは、強固なイメージのリブ付きスパンクリート壁面で覆い、様々な催事を開催すべく包含するようなイメージでデザインしています。

長大な壁面に分節すべく、上下で仕上げ材を分割し、強固なイメージ中にも浮遊感を演出しています。

駅側のエリアは、歩道と一体となり、屋外イベントスペースと機能します。

リブ付き穴あきPC版(スパンクリート):
コンクリートを押出成形した建材
力強さや表情の印象をそのまま生かした仕上げとします。
表面を保護するために素地を生かした塗装をします。



イベント展示ホールを東南方向より望む

7 施設計画 (1) 外装計画

カ 西面外装計画

通幅の広い県道浦上線に面していることや、遠く稲佐山からの見え方を考慮し、列柱にてスケール感を強調し、東面と同じ水平線でのびやかさを演出しています。
浦上川と呼応するデザイン構成としています。
立面の基本構成は東側立面と同仕様になります。



リブ付き穴あきPC版(スパンクリート):
コンクリートを押出成形した建材
力強さや表情の印象をそのまま生かした仕上げとします。
表面を保護するために素地を生かした塗装をします。



押出成形セメント板(ECP): 下段縦張り
素地を生かした仕上げとします。



西面ファサード: 素材の構成は東側ファサードと同様です。



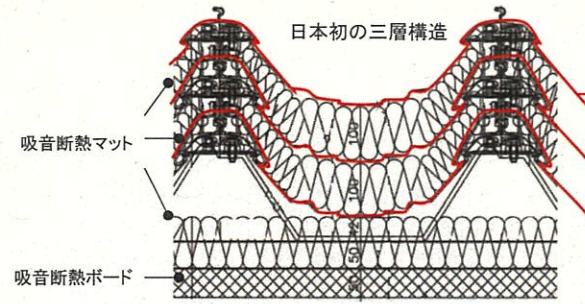
イベント展示ホール南西面を望む

7 施設計画

(1) 外装計画

キ 浦上川方面からの見え方

長崎を代表する景観の視点からの焦点に本施設はあります。周辺には新しい街区を形成する建物群があり、本施設はあたかも以前よりその場所に建っていたかのように周辺建物に調和することを目指しています。



イベント・展示ホール天井

フッ素ガリバリウム鋼板三重葺き(トリプル折板)断面図

防音性向上のため遮音性の高いトリプル折板の屋根(50dB低減※)やリブ付きコンクリートパネル(厚さ17.5cm)の外壁を採用

金属折板屋根:
フッ素ガリバリウム鋼板 シルバーグレー

※100dB 電車が通る時のガード下
↓ 50dB低減
50dB 静かな事務所の中

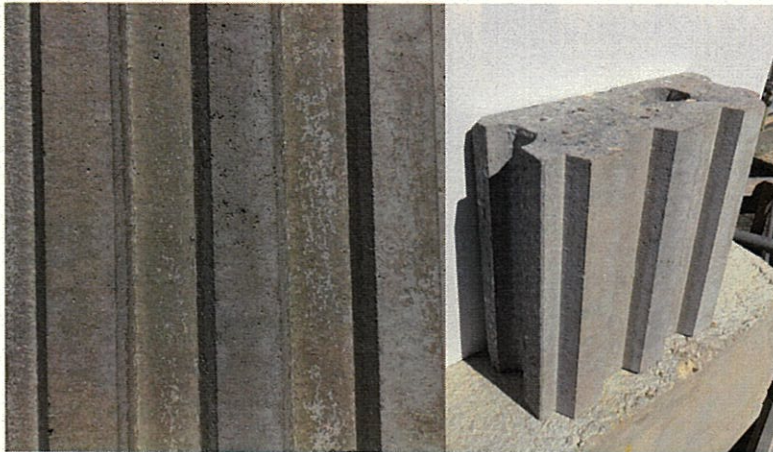


7 施設計画 (1) 外装計画

ク 素材について

使用素材については、素材の持つイメージを最大限生かし、メンテナンス性に考慮した選定をしています。

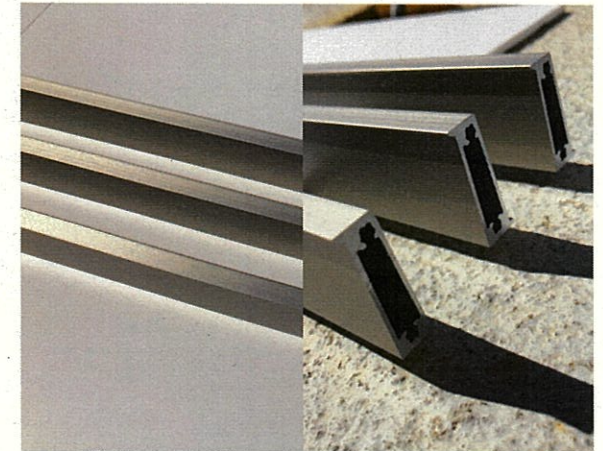
17



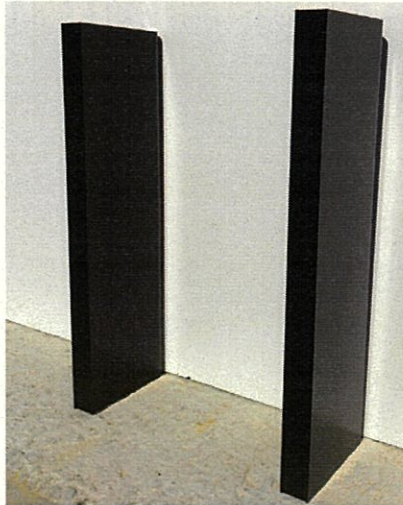
リブ付きPC版(スパンクリート):リブピッチ@100



押出成形セメント版:素地仕上げと塗装仕上(25-80A)の2種類



アルミガラリ:ステンカラー



アルミサッシ:
ブラック(2次電解着色)



縦格子手摺:
スチール溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理仕上げ



デッキ軒天井:
ファインフロア スチール溶融亜鉛メッキ仕上げ



金属折版屋根:
フッ素ガリバリウム鋼板三重葺き シルバーグレー

7 施設計画

(1) 外装計画

ケ ペDESTリアンデッキ、駐車場外装計画について

デザイン会議にて協議させて頂きました内容にて、
接続する施設や周辺建物に調和するよう進めています。



ペDESTリアンデッキ全景イメージ 西口駅広場方向より望む

出島メッセ長崎の2階に接続するため、同施設の色彩や素材感を踏襲しデザインしています。



駐車場全景イメージ 西口駅広場方向より望む

駐車場外装はアルミスパンドレル(外壁材)で設える計画です。
幅や色味の違うアルミスパンドレルをランダムに配置し、
シンプルかつ表情豊かに駐車場を装う計画です。
隣地側は主張を抑えた表現とする予定です。
エレベーター部の塗装色をチャコールグレー系とし、全体的に上品な雰囲気にまとめます。
実際の色彩は、新長崎駅舎、新長崎警察署等の周辺建物で
採用されている色彩を考慮し、決定いたします。

7 施設計画 (2) 内装計画

ア 内装計画の基本的考え方

(ア) 施設全体の基本的な考え方

“長崎の街並みや景観に溶け込む建物デザイン”

～豊かな水の流れに呼応するのびやかな建築形態。長崎市の景観の特徴である豊かな水景にとけこみ、あたかも以前から建っていたような風景を創出～

(イ) 内装に関する基本的な考え方

内装計画は、外装計画時の上記施設全体の基本的な考え方を踏まえ、長崎の街並みや豊かな水景などの唯一無二の景観に溶け込む外装との連続性を意識し設えます。エントランスであるホワイエは長崎の街並みの延長として捉え、長崎のアイコンをモチーフにお出迎え空間として設え、来館者を会議室やコンベンションホールへ期待感をもって誘います。

各諸室施設内においても長崎らしさの表現を模索しつつ、核心機能であるM/I/C/Eを受け入れるに相応しい機能性を備えた諸室内装を目指し、以下5点を諸室内装の中軸要素とします。

a 長崎の地域資源や地域魅力の発信

県産材の木材を使用した木ルーバーを設置。温かみのあるイメージを付加する。外部からの来場者が、多様な「長崎らしさ」を感じられる内装計画とし、季節や催事等に応じて、装飾を自由に施しやすい機能を付加する。

b 幅広いM/I/C/E受け入れへの対応

様々な主催者に幅広く使っていただけるよう、各諸室の利用想定用途に適応した内装の素材や機能計画を検討する。

c 来場者・主催者の安全の確保

新たな視点で、感染症対策として抗菌素材の採用や密の回避を意識する。

d 円滑に利用できるユニバーサルデザイン

催事を把握しやすい位置へのサインや案内の設置を行い、誰にでも使いやすい施設を目指す。(サイン計画は別途検討)

e ライフサイクルコストの低減

仮設や大規模持込・設営が頻繁に行われるため、損傷に強く、メンテナンス性の高い素材や仕様を採用する。(床・壁・天井)

(ウ) 各室の想定用途

部屋	想定メイン用途	想定サブ用途
コンベンションホール	・閣僚級国際会議 ・全国規模団体の大会	・会議・学会に伴う懇親会 ・ポスターセッションや展示会
イベント・展示ホール	・各種BtoC催事（企業展示会等） ・学会併催展示・ポスターセッション	・各種エンタメイベント ・大型催事時のパーティー ・大会・講演等の会場
会議室 (大・中・小)	・小規模な国際会議や分科会 ・講演会・セミナーや企業の会議 ・市民による利用	・小規模なポスターセッション ・公的試験・研修 ・大型催事のサブクローク
ホワイエ・廊下等	・円滑な主会場へのアクセス空間	・長崎の魅力発信空間
応接室	・VIPや主催者および関係者の控室	・主催者打ち合わせ室

(エ) 各室のキーコンセプト

■ コンベンションホール

“国際会議等に対応するグレードを備えつつ、幅広い用途に利用できる自由度の高い空間”

■ イベント・展示ホール

“大規模な仮設設備の設営ができ、どんな催事にも調和し寄り添うシンプルな空間”

■ 会議室【大・中・小】

“機能的で大規模会議から市民利用まで幅広く使える数層の高さを感じさせない空間”

■ ホワイエ・廊下

“「長崎らしさ」を感じられる素材やモチーフをデザインし、地域の魅力を感じる空間”

■ 応接室

“用途に合わせて、機能的な内装な設備を備えた主会場の利便性向上に資する空間”

■ その他対応可能な箇所には抗菌・抗ウイルス機能を持った内装材を選択。

7 施設計画

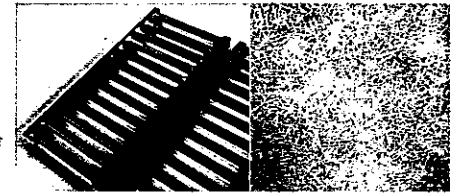
(2) 内装計画

イ ホワイエイメージ

“「長崎らしさ」を感じられる素材やモチーフをデザインし、地域の魅力を感じる空間”

- ・床：石目調のメンテナンス性に優れた磁器質タイルを石畳をモチーフにデザイン貼。
- ・壁：文化が交わる長崎をイメージし、ひし形をベースに幾何学模様でデザイン。
 広告・サイン等懸垂幕の設置も考慮。
- ・天井：懸垂幕等の設置を考慮した、吸音性能を持った天井。
 溶融亜鉛メッキ仕上げと木毛セメント板のパターン貼。

天井：ファインフロア
 スチール溶融亜鉛メッキ仕上げ
 木毛セメント板 塗装



時節毎の掲示イメージ 「ハタ揚げ」の事例	掲示用フック 掲示物や広告を設置 できるよう縦横1.8M 毎にフックを設置。	掲示例 イベントのバナー 等のイメージ。
使用素材の検討 木毛セメント板： 木毛セメント板は、耐朽性・断熱 性・調湿性・吸音性に優れた素材 です。リボン状に削った木材と水 ・セメントのみが材料という、地 球にも人体にも優しい素材です。 塗装はホワイト又はライトグレーの 濃淡種類でパターンを浮かび上が らせます。	目地の検討： ボードとボードの間 の目地にはアクセ ントとして、出島メ ヂセ長崎ブルーの目地 としています。	

柱型：押出成形セメント板
 カラークリア塗装
 サッシ・自動扉：ブラック

床：磁器質タイル
 ランダムデザイン貼

壁：デザインパターン貼

7 施設計画

(2) 内装計画

ウ 長崎らしさの検討

季節ごと、催事ごとに变化する壁面、天井

長崎は多文化が共存している都市です。

どの季節に訪れても様々な文化を発信する壁面、天井とします。



「ハタ揚げ」設置イメージ



「ランタン」設置イメージ

7 施設計画

(2) 内装計画

エ コンベンションホールイメージ

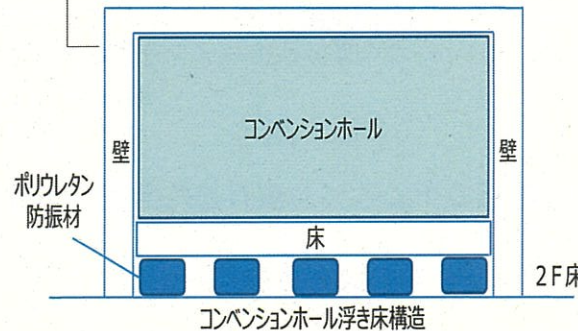
“国際会議等に対応するグレードを備えつつ、幅広い用途に利用できる自由度の高い空間”

- ・ 床：歩行感が良く、汚れが目立たない連続感のある模様があるタイルカーペットを採用。
キャリーケースや車椅子使用者に配慮した円滑に移動しやすい毛足を検討し下記仕様を採用。
- ・ 壁：落ち着いたあるアースカラーの色調を選択、木ルーバーとの調和を図る。
県産材の木材を使用した木ルーバーを設置。温かみのあるイメージを付加。
- ・ 天井：白色をベースとした主張しない、吸音性能を持った天井。

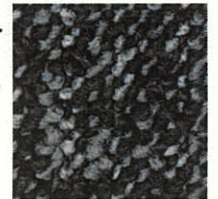
天井：岩綿吸音板



壁：0～5.7mまでビニルクロス
(表面硬化仕様)
5.7m～10.0mまでガラスクロス
吸音ボード
県産材の木製ルーバー



床：タイルカーペット
防振浮き床形式



2階にあるため、他の階に
振動が伝わりにくくするた
めの浮き床構造を採用

7 施設計画

(2) 内装計画

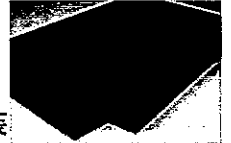
オ イベント・展示ホールイメージ

“大規模な仮設設備の設営ができ、どんな催事にも調和し寄り添うシンプルな空間”

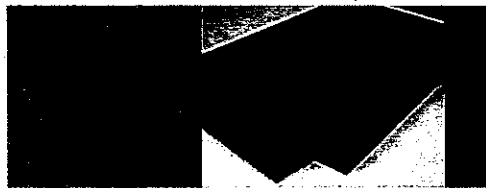
- ・床：重量物やタフな使い方に耐えうるコンクリート仕様。
- ・壁：外観のイメージを踏襲し、催事が際立つモノトーンの色調。
県産材の木材を使用した木ルーバーを設置。温かみのあるイメージを付加。
- ・天井：天井スラブに黒色のガラスクロスを設置し吸音性能を確保。構造部材もモノトーン仕様。

天井：ガラスクロス吸音ボード
ブラック

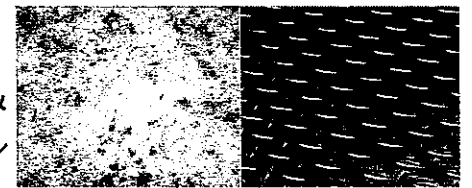
トラス梁：チャコールグレー塗装



壁：0～3.0mまで
ビニルクロス（表面硬化仕様）
3.0m～
ガラスクロス吸音ボード
（ブラック）
県産材の木製ルーバー
（オイルステイン塗装）



床：コンクリート 床用防
塵塗装 クリア塗装
設備ピット蓋：溶融亜鉛メ
ッキ仕上げチェッカープレ
ート



7 施設計画

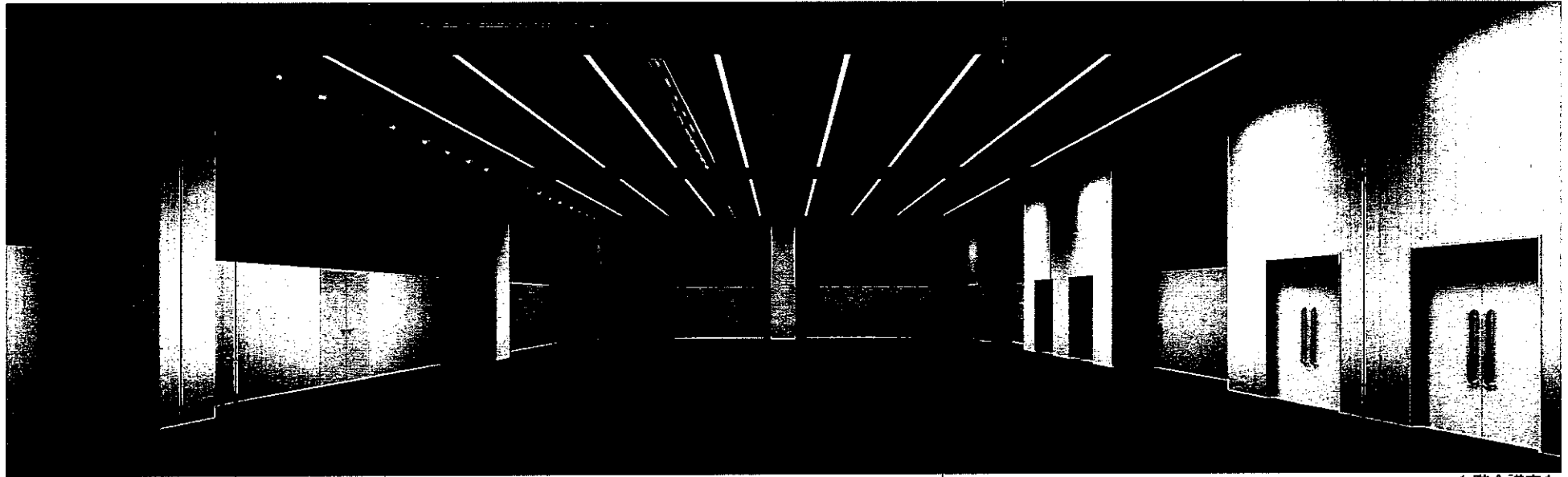
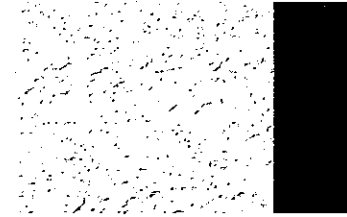
(2) 内装計画

カ 会議室イメージ

“機能的で大規模会議から市民利用まで幅広く使える敷居の高さを感じさせない空間”

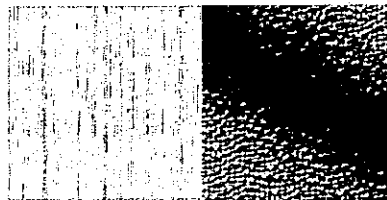
- ・床：タイルカーペットを採用。汚れが目立たない模様があり、汎用性の高いもの。
- ・壁：落ち着いたあるモノトーンをベースにした色調・柄。
- ・天井：吸音性能を確保した天井。オフィス仕様と同等（白色）。

天井：岩綿吸音板

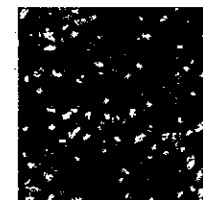


1階会議室

壁：ビニルクロス
ガラスクロス吸音ボード



床：タイルカーペット



7 施設計画 (3) 屋上計画

ア 屋上デザイン

屋上テラスは長崎の”キャンパス”として整備します。
長崎の景観の焦点となる重要なエリアに立地するため、そのエリアの屋根については、固定のデザインではなく、様々な催事、イベントが開催できるようにフリースペースとするのが相応しいと考えます。
そのため、主催者の自由な発想により利活用できる場とします。

利活用の一例（主催者の持ち込みにより実施）

- ・アフターコンベンション（カクテルパーティー等）
- ・キャンドルナイト
- ・健康イベント（ヨガ大会等）
- ・ライブ（アコースティックライブ等、大型の機器を持ち込まない規模）

①ウッドデッキエリア：
人工ウッドデッキ敷き
EVホールと床は同レベル スロープ付き

②押さえコンクリート目地
テラス範囲はアクセントとして
細目地を追加、楽しさ感を
演出

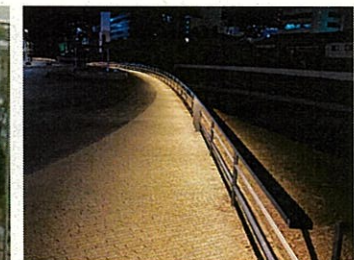


押さえコンクリートデザイン目地

③手摺：
縦格子手摺
溶融亜鉛メッキ仕上げ
H=1.2m



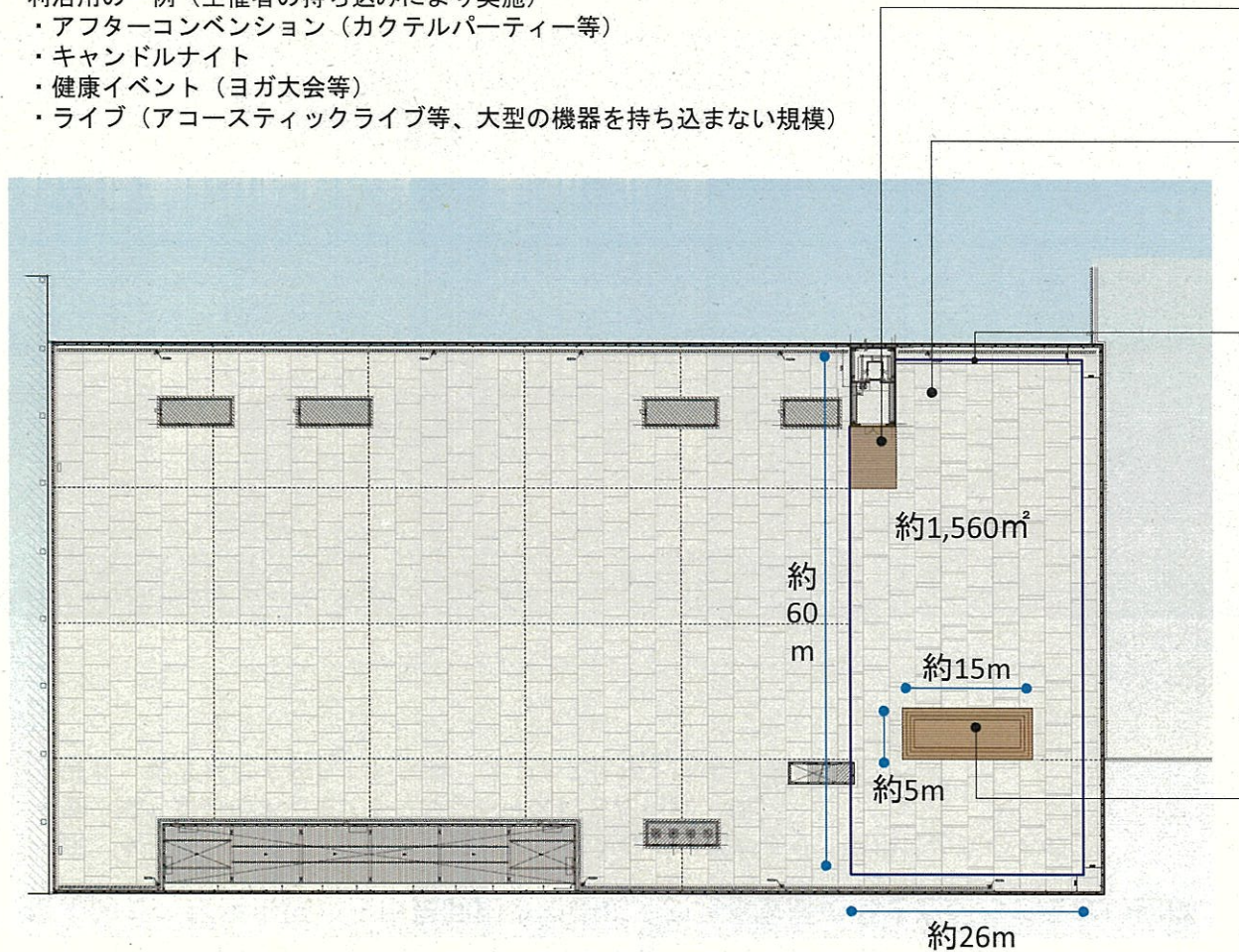
格子手摺イメージ



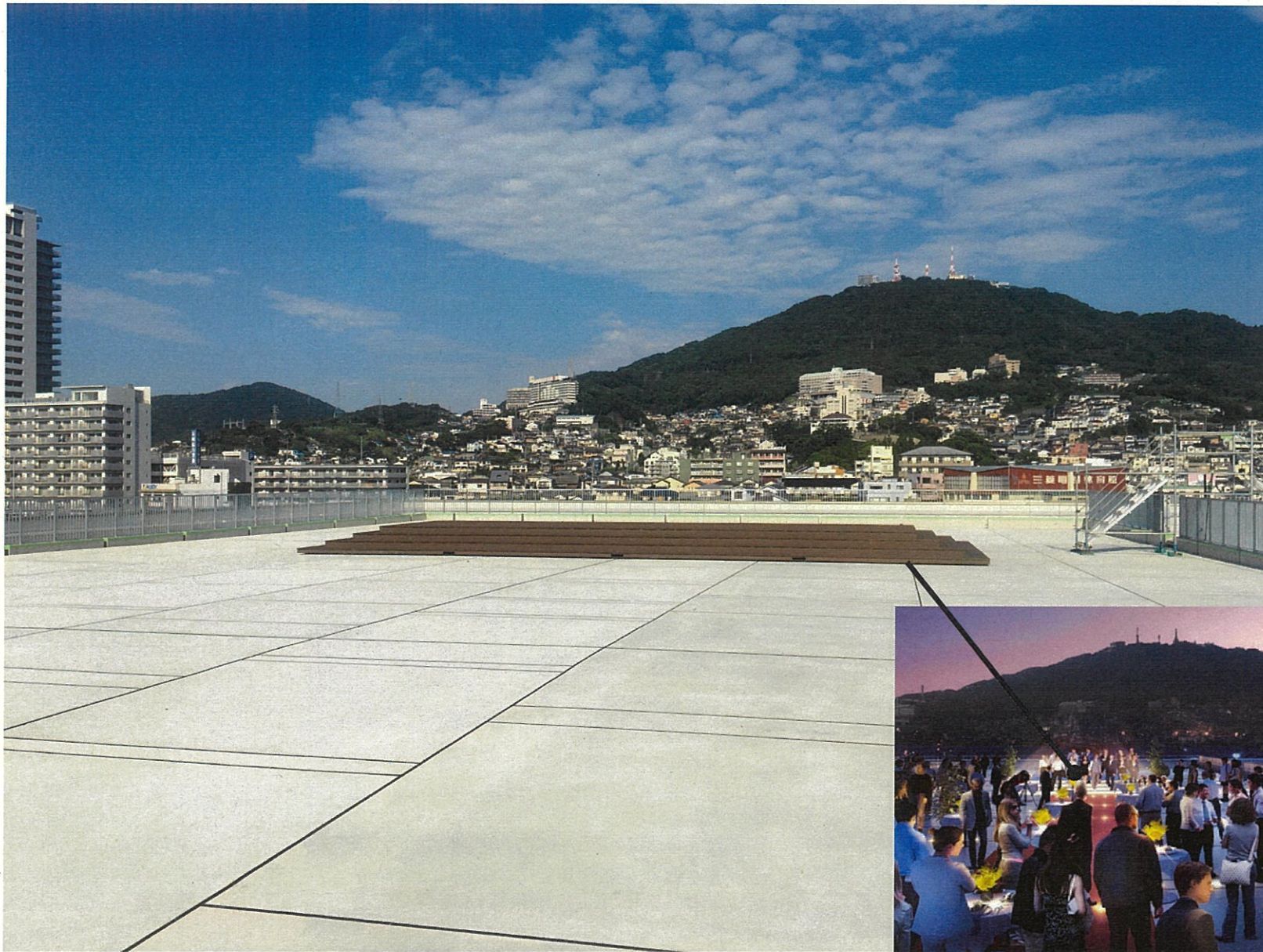
格子手摺照明夜景イメージ

④ビューデッキ
学会後の集合写真撮影や展望デッキとして整備。
イベント時のステージとしても活用可能。
（約15m×約5m×高さ約60cm）

⑤その他：
イベント用給水設備、電源設備を設置



7 施設計画
(3) 屋上計画
イ ビューデッキ



アフターコンベンションイメージ

7 施設計画

(4) 外構計画

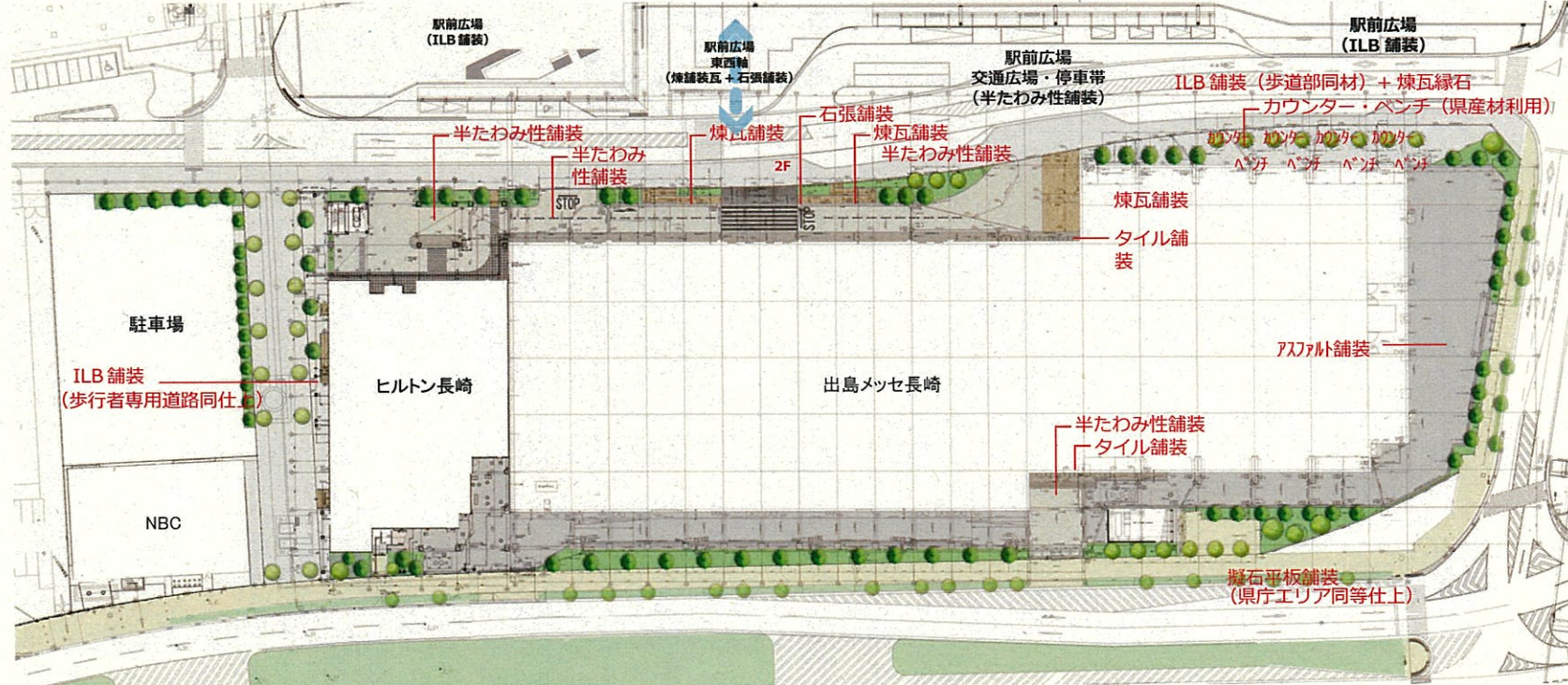
ア 舗装計画

長崎駅駅前広場計画における舗装計画との整合を積極的に図ることで、駅前施設との一体感を創出します。

市整備歩道部のインターロッキングブロック舗装と同材を同角度にて連続させ、周辺エリアとの連続性を考慮した計画とします。

長崎らしさを感じる煉瓦、県産材を利用したベンチ・カウンターなどの自然素材を組み合わせながら、周辺風景との調和を図るとともに歩いて楽しい歩行空間を創出します。

東西軸を受け止めるエントランスエリアは半たわみ性舗装を用いることで必要な強度を確保しつつ、景観面に配慮した舗装計画とします。



7 施設計画

(4) 外構計画

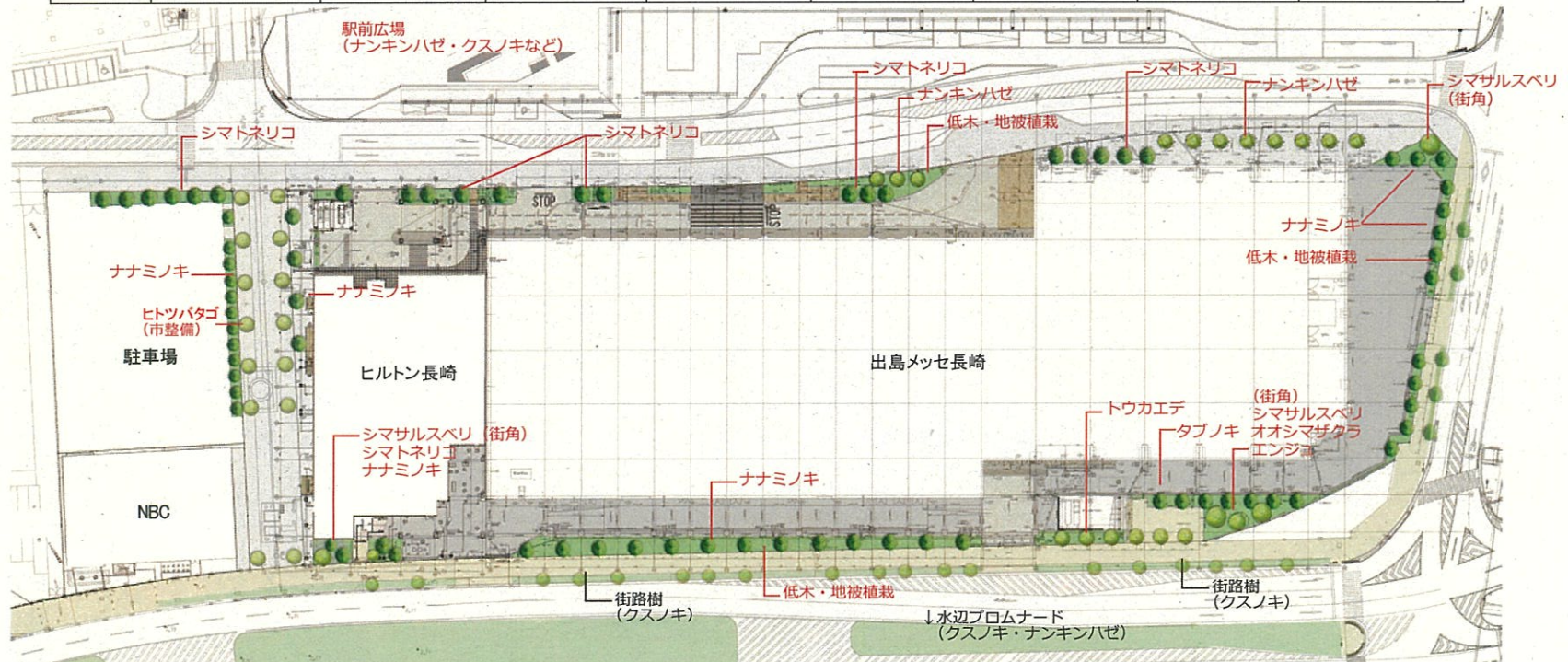
イ 植栽計画

長崎にゆかりのある樹種を要所に用い、「四季彩」に配慮した小さな四季の名所となる場所を創出します。また、耐潮性等の生育条件にも充分配慮し周辺環境との景観的連続性を創出します。

維持管理面を考慮し常緑主体で構成しつつも、街角やイベントコートなどを中心に「四季彩」を演出する落葉樹を効果的に配置します。

街角には南方に主に分布し比較的長い花期のシマサルスベリを用い街区全体の統一性と「四季彩」演出に寄与する計画とします。

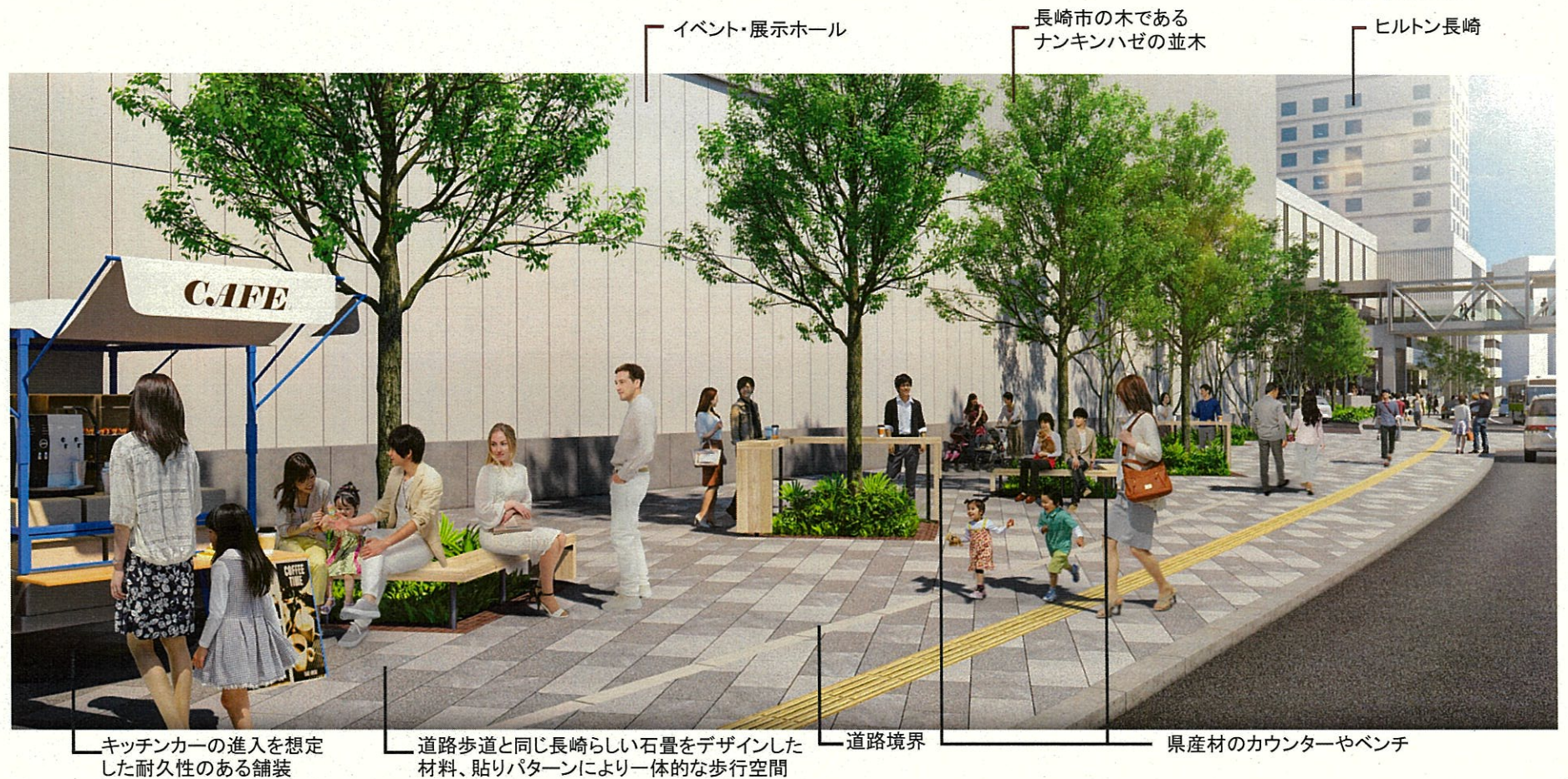
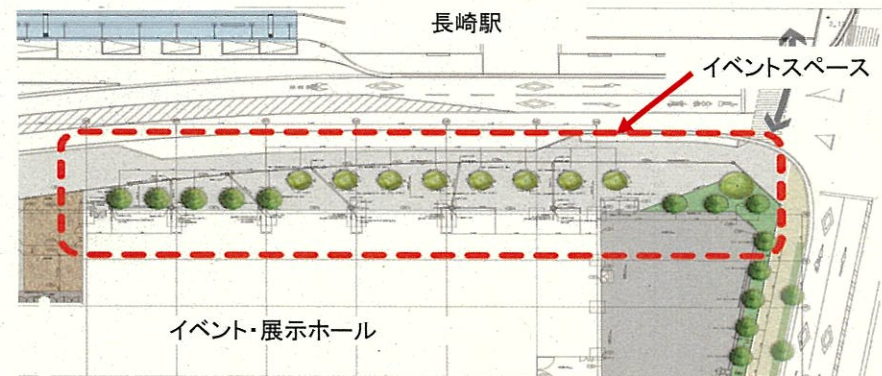
	高木植栽 (樹種イメージ)						低木植栽 (樹種一例)	
イメージ								
	島栂 (シマトネリコ) 常緑樹	七実の木 (ナナミノキ) 常緑樹	楠 (タブノキ) 常緑樹	南京植 (ナンキンハゼ) 落葉樹	島百日紅 (シマサルスベリ) 落葉樹	大島桜 (オオシマザクラ) 落葉樹	紫陽花 (アジサイ) 落葉低木	平戸躑躅 (ヒラドツツジ) 常緑低木
周辺エリア 使用場所など	水辺の森公園など	水辺の森公園など	水辺の森公園など	長崎市の木 水辺プロムナード 出島ワープなど	水辺の森公園など	水辺の森公園など	長崎市の花	長崎県の花 (ウンゼンツツジ代替)



7 施設計画

(4) 外構計画

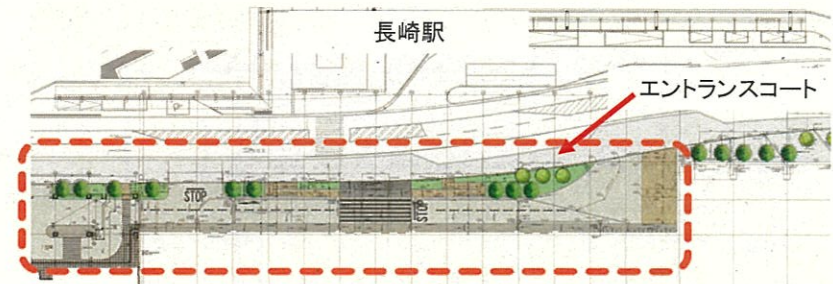
ウ イベントスペースのパス



7 施設計画

(4) 外構計画

エ エントランス付近のパース



長崎市の木であるナンキンハゼでお出迎え空間を演出

常緑樹であり夏季に花や実によって四季感を演出するシマトネリコの木

長崎市の花アジサイ、長崎県由来のヒラドツツジの植栽で人々の目線に近いところで長崎由来の彩を添える。



スロープ部は長崎らしさを演出する素材であるレンガ舗装

車寄せ車道部は耐久性と意匠性を考慮した半たわみ舗装

車寄せ歩道部は、内部ホワイエと同じタイルを使用し、長崎らしい石畳をモチーフにデザイン貼

7 施設計画

(5) 設備計画

施設設備については、自然エネルギーの積極的な活用などにより省エネルギー化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。

このことは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)にもつながります。計画ごとに、17の目標のうち関わりのある項目を記載しています。



持続可能な開発目標 17のゴール



ア 電気設備計画

SDGs 目標7[エネルギー]
目標11[持続可能な都市]
目標13[気候変動]

(ア) 電力引込

電力引込みは、変電所が異なる本線と予備線(新地変電所と銭座変電所)の2回線受電を行い、バックアップの機能を持たせます。

(イ) 非常用発電設備

2つの変電所が共に停電した場合に備え、非常用発電機を備えます。発電機はディーゼルエンジン方式とし、燃料の15,000リットルの重油を地下オイルタンクに備蓄し、72時間の連続運転を可能とします。

(ウ) 電灯、照明設備

- a 省エネルギー性に考慮し、全館にLED照明を採用します。
- b ホールには、電球色と昼白色の色温度の異なる電灯を配置し、催事の雰囲気併せ調光可能とします。フル点灯時には800ルクスを確保し、資格試験会場や手元の明るさが必要な催事にも対応可能とします。

イ 空調・衛生設備計画

SDGs 目標3[保健]
目標6[水・衛生]
目標7[エネルギー]
目標11[持続可能な都市]
目標13[気候変動]

(ア) 熱源設備(冷暖房や給湯等に使う冷水・温水をつくる設備)

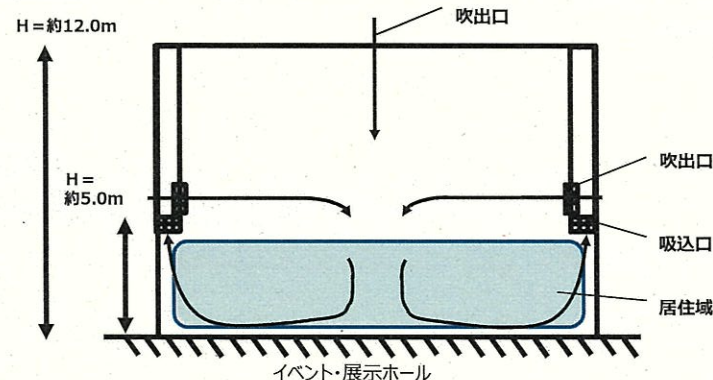
- a 電気による効率の高いターボ冷凍機を中心に、ガスによる冷温水発生機、真空温水機、密閉式温水塔といった4種類の効率の高い機器を、外気温や館内の利用状況に応じて効率的に使い分け、省エネルギー化と運用上のコスト縮減を図ります。
- b 非常時のインフラの途絶に備えるため、また、将来的な料金コストの増加となった場合のリスクを極力低減するため、ガスと電気の併用熱源とします。

(イ) 空調設備(冷暖房)

- a 空調設備は、各部屋の規模(大空間のホールか小部屋か)や機能(利用者が利用するときのみか、管理室のように常時利用か)、用途(通常の会議室か、音響機器や精密機器を使う部屋か)等に応じて使い分けをします。
- b 熱源利用の空調機から冷温の空気を送り温度調整を行う大規模方式のものから、一般家庭のエアコンのように室外機のあるパッケージ空調機方式など、5種類の形式を使い分け、省エネルギー化と運用上のコスト縮減を図ります。

(ウ) 換気設備

- a 1人1時間あたりの換気量は30m³(建築基準法の基準20m³の1.5倍)を確保し、新型コロナウイルス感染症対策として厚生労働省が専門家の見解を踏まえ推奨する換気量を満足します。
- b イベント・展示ホールは、必要な換気量を確保しながら居住域の効率的な空気の流れをつくるよう換気の吸込口と吹出口の位置を工夫しています。



7 施設計画

(5) 設備計画

(イ) 衛生器具設備

節水型の便器とし、雨水を利用した雑用水対応の仕様とします。

(オ) 給水設備

- a 上水(飲用水)と雑用水(トイレ等用水)の2系統とします。
- b 上水は3階に約70㎡の受水槽を、雑用水は地下に約400㎡の雑用水槽を設置し、災害時等に備え、延べ12,000人の帰宅困難者分の水を確保します。

上水: 非常時の1人1日当たり使用水量4L/人・日 × 12,000人 ÷ 0.7(※) = 69m³

※官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説

雑用水: 1日使用料の50%(73m³) + 非常時に必要な雑用水水量(360m³) = 433m³

(カ) 雨水利用設備

コンベンションホール棟の屋根に降る雨水用のろ過設備、殺菌設備を設置し、雑用水を地下のタンクに貯留することで、雨水の再利用を図ります。

(キ) 排水設備

- a 排水は一旦地下水槽に導き、ポンプアップによる排水とすることで、浸水時でも館内へ汚水が逆流しないこととします。
- b 災害時等の下水管の破損に備え、雑排水や汚水を貯留可能な非常用排水槽を地下に設置します。

ウ 省エネルギー計画

(下記 省エネルギー対策概念図)

SDGs 目標7[エネルギー]

目標9[インフラ、産業化、イノベーション]

目標13[気候変動]

(ア) エネルギーマネジメント

ITを利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うシステムを導入し、エネルギー消費の分析により定期的な省エネルギー対策の計画を立てやすくします。

エネルギー管理設備は管理者がインターネットにより遠隔のPCで確認できるように計画します。

(イ) 設備・システムの効率化

- a 空調吹出口の設置の工夫による空調効率の向上(イベント・展示ホール、コンベンションホール)を図ります。

- b LED照明の採用と明るさセンサによる照明器具の適正な調光制御により消費エネルギーを削減します。

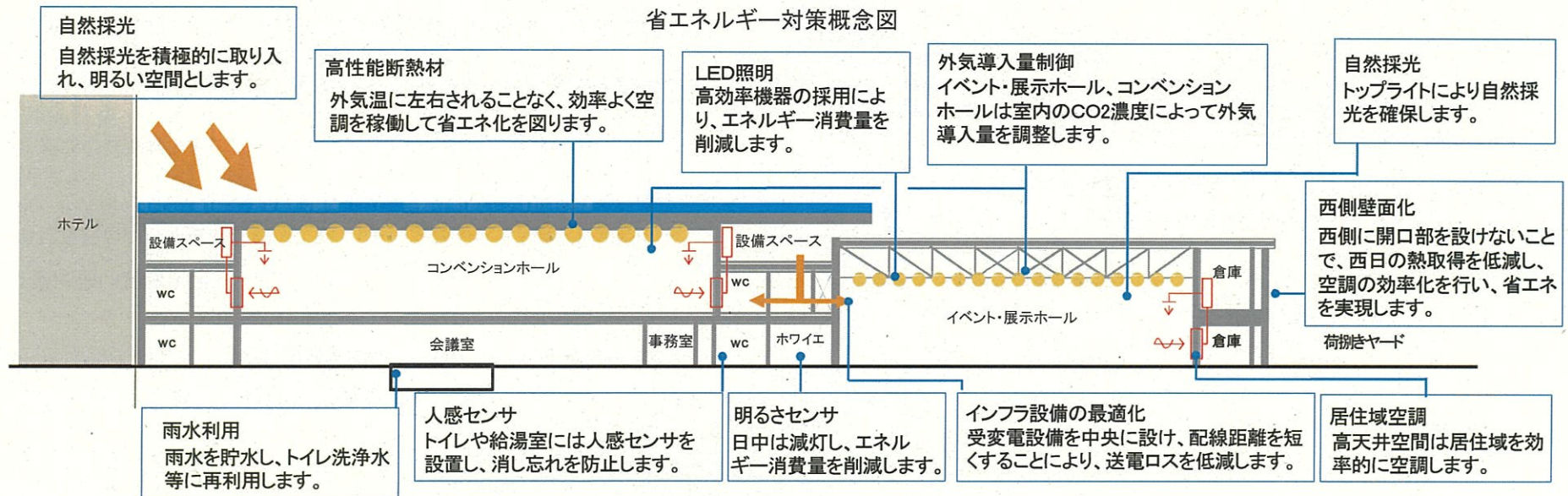
(ウ) 自然エネルギーの利用

イベント・展示ホールはトップライトによって、ホワイエは天井までのガラスによって自然採光を確保します。

(エ) 環境性能の評価

省エネルギーの取組みによって、建築物の環境性能を総合的に評価する建築環境総合性能評価システム(CASBEE)でAランク相当の計画としています。

(Cランク(劣っている)からB-、B+、A、S(大変優れている)までの5段階評価のうち)



7 施設計画

(6) 防災計画

ア 災害時の帰宅困難者の受け入れ機能

延べ12,000人(4,000人×3日間)の帰宅困難者を受け入れ可能な計画とします。

イ 災害に強い建築計画

- (ア) 官庁施設の総合耐震計画基準に基づく高い耐震安全性を確保します。
- (イ) ホールの天井は、吊天井とせず鉄骨から支持しており、地震時の天井落下を防ぎます。
- (ウ) 地震時の津波対策として、1階フロア高さを最大の想定津波高さより高くします。
- (エ) 長崎駅周辺における豪雨時雨水対策として、道路下への雨水貯留管とポンプ施設、浦上川の河川水の逆流防止弁を設置します。
- (オ) 万が一の浸水対策として、機械室・電気室・主要機器を3階に配置します。

ウ 自活可能とするバックアップ機能

- (ア) 電力引込みは、変電所が異なる本線と予備線の2回線とし、さらに停電時の対応として非常用発電機(最大3日間)を設置し三重のバックアップ機能を備えます。
- (イ) 空調等に必要な熱源機器は、インフラが途絶してもバックアップできるようガスと電気の併用タイプとします。
- (ウ) 災害にて断水しても、上水(飲用水)と雑用水(トイレ用水等)が貯留可能なタンクを設置します。
- (エ) 災害にて公共下水道が寸断しても、汚水(トイレ用水・雑排水)が貯留可能な非常用汚水槽を地下に設置します。

(7) 新型コロナウイルス感染症対策

ア 施設機能検討の考え方

コロナ禍におけるMICE開催については、密閉、密集、密接のいわゆる「三密」を避け、「新しい生活様式」に即して実施する必要があることから、次のような施設機能の対応を行っています。

- (ア) ソーシャルディスタンスが十分に確保できること
- (イ) 十分な換気が行えること
- (ウ) 人数制限等への対応策としてWeb配信が可能なこと

イ 検討内容

(ア) ソーシャルディスタンスの十分な確保への対応

会議室やコンベンションホールは、カーペット張りの平土間で自由なレイアウトが可能なことから、ソーシャルディスタンスを保った配席や飛沫感染を防ぐパーティションの設置などに柔軟に対応可能です。

(イ) 十分な換気への対応

厚生労働省が新型コロナウイルス感染症対策専門家の見解を踏まえ推奨する、外気を取り入れる換気、必要換気量1人1時間あたり30m³をすべての部屋において満足しています。

さらに、扉を開け仮設の送風機等を運転し換気時間を短縮することも可能です。

a 諸室の換気回数(括弧内の数値は扉を開け送風機等を追加設置した場合)

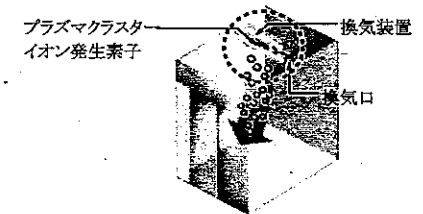
- ・イベント・展示ホール 24分/回 →(18分/回)
- ・コンベンションホール 18分/回 →(17分/回)
- ・会議室 5~11分/回 →(3~8分/回)

b 特徴

天井高12mの高いイベント・展示ホールについては、高さ5mほどの位置に吸排気口を設ける、コンベンションホールについては吸気口を壁の下部に設けるなど、必要換気量を保ちながら居住域の効率的な空気の流れを作る工夫を行っています。

c エレベーター

長崎大学などの実験で新型コロナウイルスに効果があるとされたプラズマクラスター技術を導入したエレベーター(換気時間約3分)を設置しています。



(ウ) Web配信への対応

コンベンションホール、イベント・展示ホール、会議室など計5か所に通信事業者の大容量の光ケーブルを引き込んでいます。

また、民間事業者が敷設・管理するため、将来的な容量増にも速やかに対応できます。

さらに、5Gも導入予定であり、通信環境を整えることで、オンラインと組み合わせたハイブリッド型の会議やeスポーツイベントなど、通信環境の強みを活かした催事にも対応可能です。

(エ) その他

- a トイレ等において、抗ウイルス・抗菌仕様の壁紙や、非接触型の手洗い・消毒設備、抗菌仕様の手摺などを設置します。
- b 応接室、主催者事務室に空気清浄機(プラズマクラスター技術)を設置します。
- c 会議室に空気中の細菌・ウイルスを99.9%除菌する((財)北里環境科学センターにて実証試験済み)紫外線殺菌装置を設置します。
- d 机、椅子、ドア、屋内階段手摺に抗ウイルス剤を塗布します。

8 民間収益事業の概要

(1) ヒルトン長崎

- ア 所在地 長崎県長崎市尾上町4番2号
(長崎駅周辺土地区画整理事業15街区1画地)
- イ 建物設置者 M&H長崎ホテル合同会社
- ウ 運営者 株式会社グラバーヒル
- エ 階数 地上11階
- オ 延べ床面積 20,300 m²
- カ 客室数 200室(6F以上が客室となる)
- キ 付帯施設 レストラン(1F・2F)・フィットネスジム(5F)・温浴施設(5F)、
バンケット・チャペル(4F)等
- ク 構造 鉄骨造
- ケ 施設イメージ



(2) 長崎放送株式会社社屋

ア 所在地 長崎県長崎市尾上町5番6号（長崎駅周辺土地地区画整理事業4街区2、4街区3、4街区4）

イ 建物設置者 長崎放送株式会社

ウ 階数 地上11階

エ 延べ床面積 9,055 m²

オ 構造 鉄骨造

カ 施設イメージ



9 今後の予定

(1) 完成引渡し予定日

令和3年7月末建設工事完了後、備品の搬入、納品確認を行い、令和3年8月18日(水)に引渡しを受ける予定。

(2) 内覧会予定

施設引渡し後、順次、長崎市議会や関係者、主催者向けの内覧会を実施予定。
また、市民向けも200人程度の内覧会を実施予定。

(3) 開業式典とまちびらき

令和3年11月1日(月)は、出島メッセ長崎(駐車場含む)、ヒルトン長崎、長崎放送社屋の3施設が開業を迎えることから、複合施設として整備した交流拠点施設の合同式典を三者主催で開催する。

また、当日は3施設の開業に伴い、長崎駅西側全体が大きく動き出すことから、長崎駅西側広場等を含めた「まちびらき」を開催する。

10 出島メッセ長崎への誘致状況

出島メッセ長崎へのMICE誘致に関して、長崎市と(株)ながさきMICEは、開業の11月に利用想定人数61万人に到達することを目標に、四半期ごとの到達目標を設定し取り組んでいる。

5月末時点における利用想定人数は約47万人、達成率は約77%となっており、5月末の目標である約75%を一定達成できている。

政府系会議・国際会議の誘致については大きな経済効果だけでなく、MICE都市としての知名度向上が図られることで今後の国際会議などの誘致につながることから、長崎市が主体的に取り組むこととしており、特に令和5年に日本で開催予定のG7サミットについては今年夏頃に公募要件が発表される予定であることから、県、(株)ながさきMICE等と連携し、情報収集及び誘致に取り組んでいきたい。

【開業後1年間の誘致状況(令和3年11月~令和4年10月)】

(千人)

種別	目標利用者数	利用想定人数※	達成率
		R3.5月末時点	
学会	50.8	約39.8	約78%
一般会議	155.5	約44.3	約28%
イベント 展示	404.0	約384.1	約95%
合計	610.3	約468.2	約77%

目標達成率

R3.2月末 約66%

R3.5月末 約75%

R3.8月末 約81%

R3.11月末 100%

※利用想定人数…決定・内定及び日程調整中の案件について、主催者の参加見込人数から算出

11 長崎市MICEアンバサダー

長崎市のMICE誘致を推進し、MICE都市としての存在感を高めるため、オール長崎で取り組む長崎モデルの制度として、MICE関連産業、大学、経済団体、スポーツ関係団体等から、MICEに関して優れた識見を有し、かつ、本市のMICE都市としての存在感を高めるために、MICE誘致に係る協力、助言、情報発信等を行っていただけるアンバサダー（=大使）として、6名に就任いただき、令和3年5月27日（木）に就任式を行った。

(1) アンバサダーの活動内容

- ア MICE誘致に係る協力
- イ MICE誘致活動に係る助言
- ウ MICE開催地としての情報発信等

(2) 選任した長崎市MICEアンバサダー（五十音順）

- 池上 国広 氏（長崎総合科学大学 学長）【大学】
- 河野 茂 氏（長崎大学 学長）【大学】
- 高田 春奈 氏（株式会社V・ファーレン長崎 代表取締役社長）【スポーツ】
- 高橋 広行 氏（株式会社JTB 取締役会長）【MICE関連】
- 福島 伸一 氏（株式会社大阪国際会議場 代表取締役社長）【MICE関連】
- 宮脇 雅俊 氏（長崎商工会議所 会頭）【経済団体】



12 学生ボランティアの人材育成及び仕組みづくり

（株）ながさきMICE及び長崎大学（経済学部）と連携し、MICEの意義・効果、MICEに関連した業務等の基礎知識を学ぶことで、新たなMICE人材の育成と、ボランティア等の参画促進に繋げる取組みを開始した。

学生ならではの視点で展開できるイベントの企画や実践等を通して、学生の将来の活躍の場につなげることを目的としており、FFG主催「出島メッセ長崎こけら落としイベント」の一環として、実際に学生が企画したイベントを実施運営する予定である。

- (1) 期間 令和3年4月～12月（予定）
- (2) 対象学生 長崎大学経済学部 赤石孝次教授ゼミ生（2年生、3年生）
- (3) 主な内容
 - ア MICEに関する講義（MICE概論、長崎市の取組み、DMOの役割、MICE人材、MICEブランディング 等）
 - イ イベントの企画運営の実践（グループごとにイベント企画を立案）